

科学技術の潮流

JST研究開発戦略センター

人材不足・軽視

中国は「科学技術強国」を目指すものの、基礎研究の弱さが重要な技術のボトルネックの根源にあるとの認識を持つている。その原因として、基礎研究に関する投資や人材の不足、同分野に対する企業の軽視などが指摘されている。2018年には、国務院（日本の内閣に相当）が「基礎科学研究の全面強化に関する若干の意見」を発表し、学術分野の整備、人材育成の強化、企業の基礎研究強化促進などを示すなど、科学技術政策において重

要課題と位置付けた。

さらに国家戦略である

第14次五カ年計画（21-25年）でも、基礎研究費の増額、企業研究投資に対する優遇税制、「基礎研究10年行動計画」（策定中）の実施などの方針が明記された。中国の研究開発費の計画期間中は、全体の

156

多くは開発研究への投資であるが、基礎研究投資も増加しており、16年には約823億元（1元≒16円、約1兆3168億円）、研究開発費全体の約5・2%であったが、21年には基礎研究への投資は全体約2兆7864億元（1元≒17円、約47兆3688億円）のうち約1696億元（約2兆8832億円）となり、約6・1%を占めた。第14次五カ年計画期間中は、全体の

企業も支援拡大

研究開発費の多くを企業も、大手企業に開発費全体の約5・2%であったが、21年には基礎研究への投資は全体約2兆7864億元（1元≒17円、約47兆3688億円）のうち約1696億元（約2兆8832億円）となり、約6・1%を占めた。第14次五カ年計画期間中は、全体の

求を奨励し、10年間で約200-300人に100億元（1元≒20円、約2000億円）を投資する。「数学・物理学」と「生物学・生物医学」を対象とし、実験タイプは1人当たり年間最大500万円、理論タイプは最大300万円を5年間で奨励する。18年には、45歳以下の若手基礎研究者を奨励する「科学探索賞」を設立し、数理物理学や生命科学など分野の研究者、毎年50人に1人当たり年60

基礎研究の遅れを指摘している。ネット通信機器大手のファーウェイも、18年に、今後は年間の研究開発予算150億-200億のうち、20%を基礎科学研究に割り当てる旨を発表している。

中国、基礎研究に投資強化



科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センターフェロー（海外動向ユニット） 吉田裕美

早稲田大学大学院人間科学研究科博士課程単位取得後満期退学。専門は移民研究および社会言語学。岡山大学で講師、ユニセフ東京事務所、在ノルウェー日本国大使館、国連大学勤務を得て、20年から現職。

中国の研究開発費（2020年）

総額：約2兆4,393億元（約37兆8,092億円）

基礎研究費	応用研究費	開発研究費
1,467億元 (約2兆2,739億円)	約2,757億元 (約4兆2,734億円)	約2兆169億元 (約3兆12,620億円)

注：①1元=15.5円換算、②文中は21年の研究開発費を記載しているが、内訳は未公表のため20年の統計を使用
 国家統計局・科学技術部・財政部「2020年の全国科学技術経費投入統計公報」（21年）より作成
http://www.stats.gov.cn/tjsj/zxfb/202109/t20210922_1822342.html

中国の基礎研究を支援する取り組みは、今後も強化・拡大することが予想される。動向を注視しつつ、わが国の基礎研究政策を検討していくことが重要であろう。
 （金曜日掲載）